

がんばろう日本 がんばろう東北

医療法人済恵会 広報誌

オアシス61号



院長
須藤 英仁

今年ほど春が待ち遠しいと感じているのは私だけではないと思います。季刊誌オアシスがお手元に届くころ、春らしい陽光に包まれた暖かさが溢れていることを念じております。心より東北地方の被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

医療法人済恵会の新年度も始まりました。昨年度平成23年3月23日には病院評価機構より病院機能評価の再認定の許可を頂くことができました。5年前に病院機能評価認定病院と認められたわけですが、この5年間で時代のニーズに合わせ審査基準も変化し再認定の時期を迎えていたわけですが、今回の審査も事務部門、看護部門を中心に診療体制の見直し、安全性確立の見直し、病院組織全体の見直しなどマンネリ化しやすい病院運営に久し振りに“喝”が入った感じがしております。

そんな中、早速役に立ったことがありました。日頃の災害の備えは出来ているか？という項目があったため当院では入院患者さんの飲料水の確保を進めてまいりました。ペットボトル数百本を備蓄していたのが3月11日の震災当日の大停電の時早速役立たせることができました。当院はより安全な病院を目指しているためエネルギーはすべ

て電力であり、火の気は全くありません。しかしながら屋上のタンクに水をあげるポンプが使えなければすぐに飲料水にも不自由するような事態に陥ってしまうのです。文明の利器の落とし穴を改めて感じるとともに、日頃の備えがいかに大切かと感じました。また計画停電では患者さんにはご不便をおかけしております。受付において、すでに停電時の注意点が渡されていると思いますが、受診時にはもう一度停電の有無に注意をされるようお願いいたします。停電中でもできる範囲での診療は行いますがどうしても十分な診療体制とは申せません。ご協力お願いいたします。

さて今年も13名という多くの前途ある若者が当法人に就職してまいりました。准看護学生5名、理学療法士1名、作業療法士2名、准看護師2名、管理栄養士1名、介護福祉士1名、薬剤師1名の布陣です。またあらたに看護師6名、准看護師5名、介護福祉士2名が資格を取得しました。特に看護師6人のうち2名は准看護師として10年以上経験を積み、さらに通信制の看護学校に2年間在籍し今年の看護師国家試験に合格しました。この努力については法人の責任者として誇りに思うものです。10年以上の経験がある2名です。即戦力としてさらに高度な看護を提供してくれるものと期待しております。

今年度は大震災という最悪な状況からのスタートとなりました。他の業種の営業が本当に困難に直面している状況でも多くの患者さんには来院して頂いております。われわれのできることを最大限に発揮し患者さんのお役に立てるよう努力しますのでよろしく願いいたします。

～災害医療救護派遣に参加して～

一般病棟看護課長 黛 利子

3月11日午後2時46分 東北地方太平洋沖地震が発生し、一か月が経ちました。被災地の皆様、被災地以外でも様々な影響を受けている皆様、1日も早く元の生活に向けて復旧しますようまた、多くの犠牲者の方々、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

群馬県は宮城県からの派遣要請に基づき、群馬県医療救護班を宮城県に派遣することを決めました。医療救護班は県内の国公立病院を中心とし、群馬県医師会からも編成され、その内容は医師1名、看護師3名を1つのチームとして活動します。

震災から2週間後、須藤病院から県医師会班チームとして派遣が決まりました。看護師4名が第2班(福田・黛)・第3班(長岡・廣瀬)として被災地へ医療救護班としての活動をして参りました。

派遣場所は宮城県本吉郡南三陸町のベイサイドアリーナでした。東北自動車道から北陸道を経て被災地に近づくほど、道路は波打ち、鉄筋コンクリート製4階建の建物に泥や船の備品が突き刺さり、アパートの屋上には車が乗っている。主要道路は自衛隊の活動によって、かろうじて整備されていましたが、それ以外全て破壊され瓦礫の山に何度も目を疑う光景でした。

町全体が津波によって壊滅状態になった南三陸町では、45箇所の子難所があり、ベイサイドアリーナは本部として医療拠点にもなっているため、1,500人の被災者の方が避難され、廊下に布団を敷いて横になられている方も多く見受けられました。ライフラインの状況としては、水道は断水、電

気は電源車により確保され、トイレは仮設トイレの使用でした。本部では14チームの医療救護活動が展開されており、群馬県医療救護班の活動場所として、志津川中学校校舎2階に救護室が開設され、病院を丸ごと津波にのまれた公立志津川病院の医師、看護師の方々も被災され避難されているなか、休暇なく被災された方たちの診療に携わって参りました。自らも被災者でありながら働き続けた、公立志津川病院の職員休養の目的を含め、避難所である志津川中学校へ常駐することとなりました。

志津川中学校には250人の方たちが被災・避難されており、ライフライン(ガス・水道・電気)は全て断たれている状態にもかかわらず、被災者の方々は一丸となって一日のスケジュールに合わせて、起床後の掃除・ラジオ体操・食事の準備・薪わり等を自主的にされており、教室内で横になられている方が少なかったのが印象的でした。被災から2週間経過されていることもあり、主に糖尿病や高血圧等の慢性疾患の患者さまが多く、足の捻挫や火傷・尿閉等の患者さまにもご負担をお掛けすることなく対応や処置を行うことが出来ました。また、受診時に心情を話されホッとされて帰られる姿を目の当たりにし、微力ながら医療や看護の力になれたのであれば幸いと存じます。短い期間でしたが、あの光景は一生忘れない、忘れてはいけない、この貴重な体験を今後の看護への糧とし繋いでいきたいと思っております。

ロボットスーツHAL®導入

リハビリ通信

～ 革命編 ～

理学療法士 菅根 利明

近年技術の進歩に伴い、私たちの生活は豊かになり“便利”というものを手に入れるためにさらなる研究や開発が行われています。

医療の世界でも、その技術の進歩はめざましいものがあり、診断や治療に使われるCT・MRI・超音波などはより安全で早く正確な診断に役立てるようになりました。私たちの生活に身近なところではテレビ・携帯電話・コンピュータなど多くの技術も同様であり、その恩恵に預かっています。

この度、須藤病院では、将来的に非常に期待されている、“ロボット”の導入を試みることになりました。これは、病気・ケガによって障害を持ってしまった方々の脚の動きを補助し、歩行の手助けをしてくれるロボットです。簡単に申しますと、最近普及しつつある電動アシスト自転車のようなものと言えるでしょう。

ロボットは全てを自動化して歩行させる道具ではなく、障害によって動きづらくなった脚の部分のわずかな電気信号をセンサーが検出して、モーターが動きを補助してくれる仕組みです。実際の日常生活の中で実

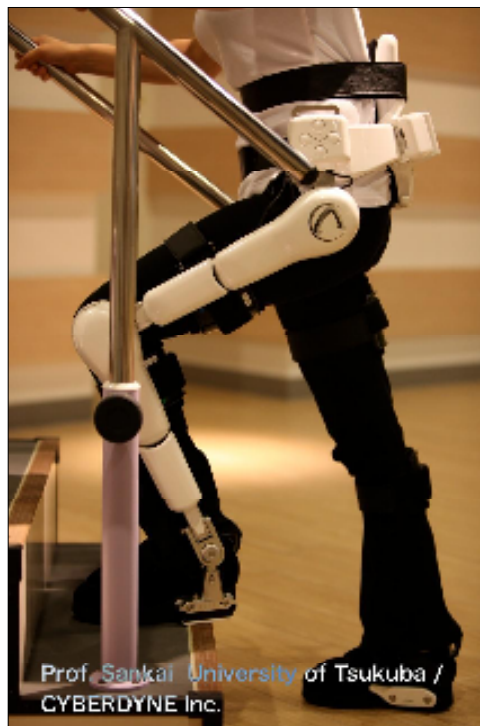
用化するのにはまだまだ難しいですが、施設におけるリハビリテーションの場面では、このロボットを装着し歩行時の脚の動かし方を練習することが出来ます。

障害によって練習しても、十分な範囲を動かすことが出来なかった脚に、動かし方を教えることが出来るのです。これは「運動学習」と言い神経と筋肉を使った動きのシステムを、上達させてくれるものです。そして、反復して練習することによって、スポーツをするのと同じく、動きがさらに上達していくものと考えられます。

少しでも障害の回復の手助けになれるよう期待しており、私どもリハビリテーション部では、ロボットを使った練習を行っていきたいと思います。実際の導入時期は5月中旬を予定しております。詳しくはリハビリテーション部(菅根)までどうぞ。



Prof. Sankai University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc.



Prof. Sankai University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc.

『ロボットスーツHAL』®は、日本国または外国におけるCYBERDYNE(株)の登録商標です。

広報誌オアシス 制作 広報委員会
〒379-0116 群馬県安中市安中3532-5 Tel (027) 382-3131 FAX (027) 382-6568

診察券による受付になりました。診察券をお忘れなくお持ち下さい。 須藤病院 Tel 027 (382) 3131

～老健めぐみ利用者アンケート結果～

支援相談員 古島 隆矢

日頃より介護老人保健施設めぐみをご利用頂きまして誠にありがとうございます。冬の厳しい寒さが過ぎて、大分暖かくなってきました。さて、めぐみでは毎年、ご利用者様のご意見・ご感想を調査する為、アンケートをお願いさせて頂いております。今回は、通所リハビリテーション、短期入所サービス、長期入所サービスを利用して頂いている方、約180名を対象に調査をさせて頂き、およそ半数以上の方々からお返事を頂きました。頂いたお返事の中から、今回は通所リハビリテーションと短期入所サービスご利用者様のアンケート調査結果を中心としたご報告をさせていただきます。

① 職員の対応に関して

挨拶はどうですか？

満足：44人 普通：17人 不満：1人

言葉使いはどうですか？

満足：37人 普通：24人 不満：2人

身だしなみはどうですか？

満足：38人 普通：23人 不満：0人

その他のご意見(抜粋)

- 朝、いつも明るく元気に声をかけて下さるので、本人も大変嬉しい様子です迎えの車を心待ちにしております。デイの日は張り切って、とても早起きです。
- 母に他の施設の利用を勧めた時期がありました。でも他の施設は絶対にやだと言うのです。現在も気は変わっていないです。母が絶対にやだと言う意味が良く分かります。本当に感謝致しております。
- ネームを付けて下さい。名前が分からない。
- 同室にウルサイのが居て、夜眠れないと言ったら、部屋が少ないので我慢しろと言われた。

② 送迎に関して

迎えの時間はどうですか？

満足：23人 普通：33人 不満：5人
(早い：3人 遅い：2人)

帰りの時間はどうですか？

満足：18人 普通：31人 不満：11人
(早い：5人 遅い：6人)

運転は安全ですか？

満足：48人 普通：11人 不満：0人

その他のご意見(抜粋)

- 安全という意味を考えると、送迎時の職員は出来れば2人ですと私共も安心です。
- 送迎する時、ドライバーの人だけでは大変だと思います。(何かあった時など)
- 送迎の時間が決まっていればもっと有り難いと思います。
- 帰りの時間を良く考えて組み合わせして下さい。いつも一番ビリです。最後は寂しいです。
- 送迎の時間がまちまちである。

③ 食事に関して

食事内容・おやつはどうですか？

満足：21人 普通：25人 不満：3人

食べたい食事は何かですか？

- おかずは魚を多く ●めん類 ●さしみ
- カレーライス ●かつ井 ●ラーメン
- てんぷら

その他のご意見(抜粋)

- 折に触れ、いろいろな行事食やラーメンなども用意して下さい、家庭ではなかなか出来ないことなので喜んでおります。
- 歯が入れ歯な為、やわらかい「ごはん」をお願いしてありますが、今後も引き続きお願いします。
- 大まかで良いのですが、何を頂いたかがわかると 前後の食事が重ならなくて助かります。
- 味付けがもう少しという所だけでしょうか。
- おやつはたまに果物がほしいです。

④入浴に関して

入浴時間はどうですか？

満足：25人 普通：18人 不満：1人

職員の介助はどうですか？

満足：31人 普通：14人 不満：0人

その他のご意見(抜粋)

- 利用者の中に職員にちょっかいを出すものがある。
- 女性が先のこと多く、入浴順でイライラが溜まりストレスがある。
- 入浴時間が遅くなり昼食が1時を過ぎる時がある。

⑤リハビリに関して

内容はどうですか？

満足：25人 普通：17人 不満：1人

対応はどうですか？

満足：30人 普通：13人 不満：0人

時間はどうですか？

満足：16人 普通：21人 不満：5人

その他のご意見(抜粋)

- 優秀な先生で症状が目立って改善されています。
- 週1回ですが、有り難いと思っております。
- 簡単すぎる。

⑥レクリエーションに関して

レクリエーションはどうですか？

満足：15人 普通：217人 不満：1人

楽しいレクリエーションは何ですか？

- カラオケ ●外出レク ●桜の花見
- 踊り ●高崎市役所展望ロビー見学

今後やりたい事は何ですか？

- 近場でいいので、公園や花見に外出したい
- 誰でも知っている小学校唱歌又は童謡等を合唱したらいかがでしょうか。

⑦お気づきの点等ございましたらどうぞ

- ショートステイのとき、話し相手が居ない時など困ります。特に夜間、同室の者がウルサイのが困ります。ケアマネさんを通し、特にウルサイ人と同室の場合は、やめて欲しいと強固に申し入れる。
- 歯ブラシが紛失した。
- 菓の飲み間違いがあった。
- こちらから聞かないと、説明がない。
- リハビリ状況や他入所者との関係（誰と話をしているのか・ほとんど交流はないのか・スタッフのみの交流なのか等）を知りたい。
- 出来るだけ、言語訓練を望む。
- 本人用のノートを作って、連絡や日頃の状態を書いて置いて下さると助かります。
- スタッフと家族同士が話し合える場があると嬉しいです。
- 温度調節に一段の気遣いをお願い致します。

このように多くのご意見や感謝のお言葉をいただきました。皆様からのご意見に関しては検討させていただき、皆様が喜んでいただけるように対応していきます。これからも介護老人保健施設めぐみを宜しくお願いいたします。

合格おめでとう

看護師	6名
准看護師	5名
理学療法士	1名
作業療法士	2名
介護福祉士	2名

総勢17名の職員が有資格者となりました。